

平成22年9月9日

平成22年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第10回 9月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門(山本)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

8月下旬より減少し、前年より少なかった。

前年	平成21年9月1日	(7点の平均)	11.0 個
前回	平成22年8月19日	(17点の平均)	14.2 個
今回	平成22年9月1日	(7点の平均)	0.7 個

○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

8月下旬より減少したが、前年より多かった。

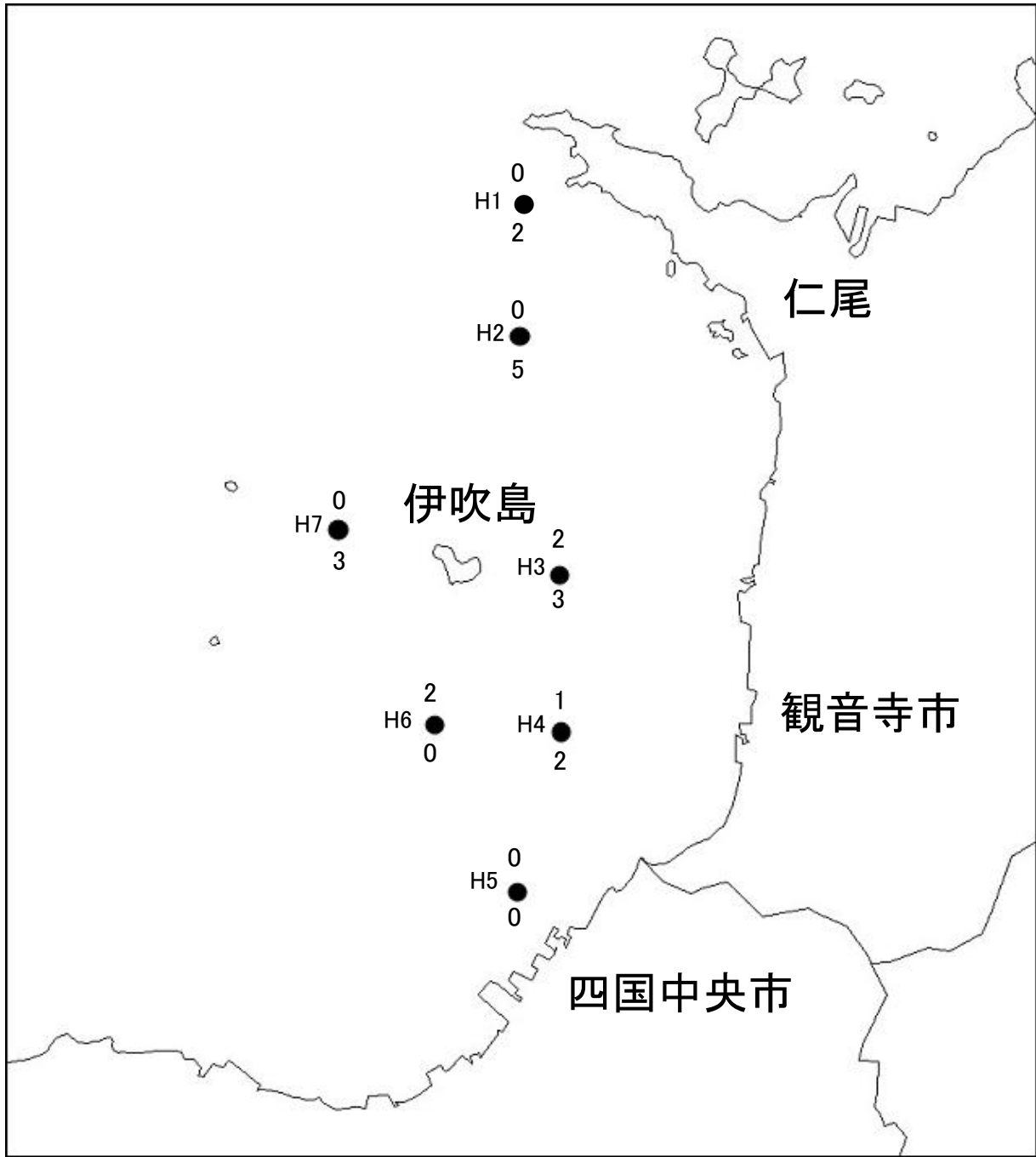
前年	平成21年9月1日	(7点の平均)	0.3 尾
前回	平成22年8月19日	(17点の平均)	7.6 尾
今回	平成22年9月1日	(7点の平均)	2.1 尾

○プランクトン調査

珪藻が最も多かったが、餌として重要であるカイアシ類も平年より多かった。

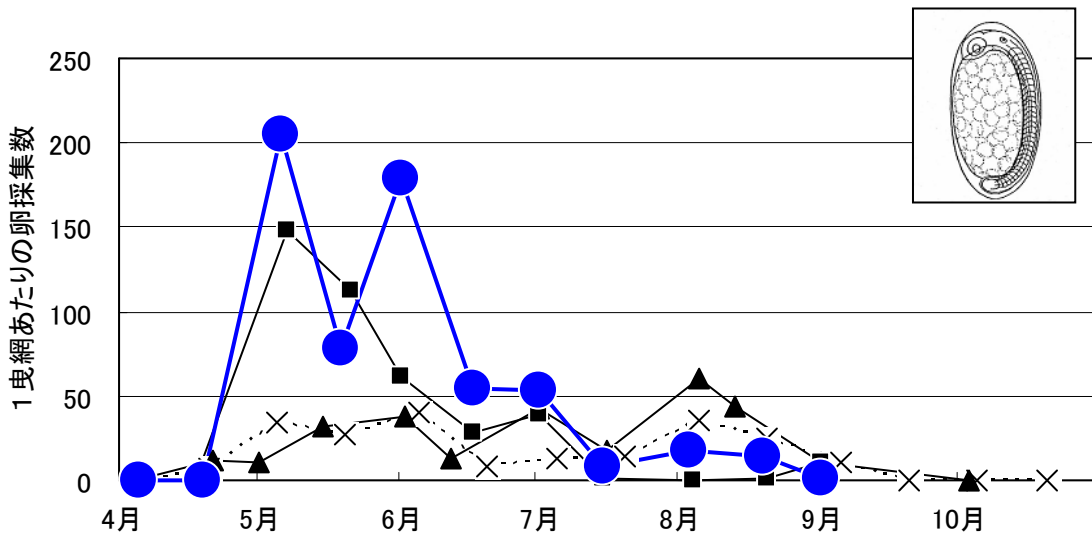
今年度のカタクチイワシ卵稚仔調査は今回で終了です。

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(9.1)

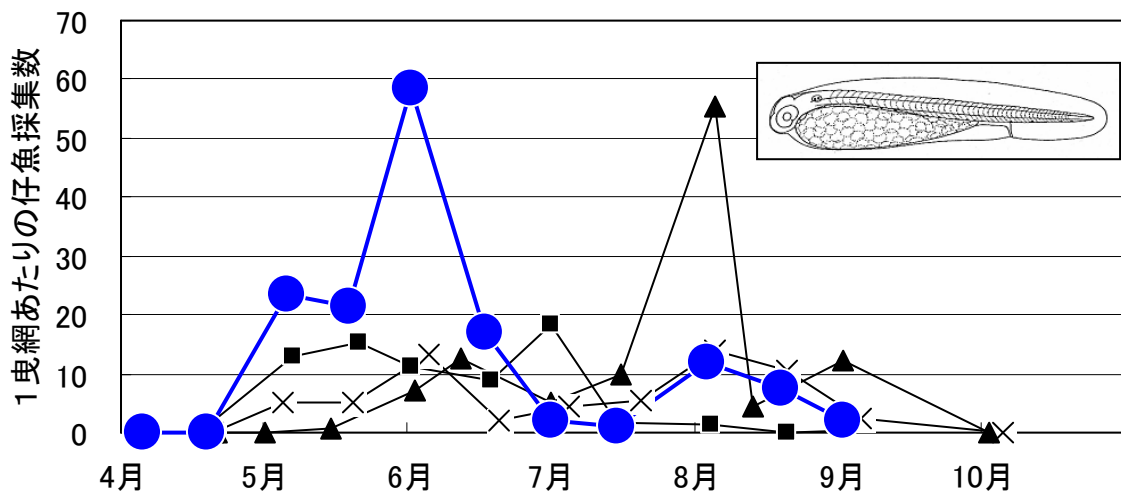
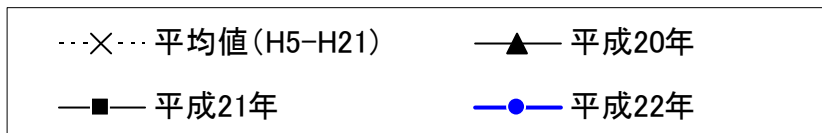


●の上側がカタクチイワシ卵数,
下側がカタクチイワシ稚仔魚を
示す。いずれも1曳網当たりの数

21 ← 卵数
●
5 ← 稚仔数



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況



燧灘におけるカタクチイワシの仔魚出現状況

